

Vol. 160

2017.8.9

理事長トーク Top Interview

健育会グループの福利厚生について

医療法人社団 健育会 理事長 竹川節男



健育会グループでは、私が理事長として職員に約束することの一つとして「一人ひとりの人生の夢」と掲げています。これは、「職員一人ひとりが人生の夢・将来の夢を描き、それに向かって輝けるような職場環境」を約束しているのですが、そのためには職場はもちろんのこと、生活の中でも仕事の活力となるようなエネルギーを満たせることが大切だと考えています。そのような考えのもと健育会グループでは、福利厚生制度の充実に力を入れています。

福利厚生施設

健育会グループでは、福利厚生施設として、箱根・軽井沢・京都などに展開されている会員制リゾートホテル「東急ハーヴェストクラブ」と契約を結んでいます。全国29カ所全ての施設に会員価格で宿泊が可能です。

東急ハーヴェストクラブは、ゴルフ場やスキー場といった施設が隣接していたり、風情のある温泉大浴場が用意されているなど、くつろぎの時間を過ごすことができるホテルです。四季折々の様々なリゾート地を楽しみ、リフレッシュしてもらえればと考えています。



レジャー施設の割引チケット

「東京ディズニーリゾート」の対象施設などの利用代金を3000円補助するコーポレートプログラムと「東京ドーム」のシーズンシート（年間の指定席）の手続きを現在進めているところです。また、石巻健育会病院では、「楽天イーグルス」の年間シーズンチケットやいわき湯本病院では「スパリゾートハワイアンズ」の利用券なども用意しています。多くの職員が利用できます。

クラブ活動支援

各病院・施設で行われている野球部、マラソン部、ゴルフ部、華道クラブなど、職員のクラブ活動の活動費を補助しています。



マリンスポーツクラブ

院内・施設内のコミュニケーションの活性化を目的に、毎年春から夏にかけてマリンスポーツクラブが開催されています。今年も、大勢の職員が参加したようです。

2017年5月13日(土)

ライフケアガーデン湘南・茅ヶ崎セントラルクリニック

湘南地区合同のマリンスポーツクラブが、施設の交流を深める目的で佐島マリーナで開催されました。この日は、グループ内で今年最初の開催となり、子供を含む23名が参加しました。残念ながら天候に恵まれず、クルージングと軒下でのBBQのみとなりましたが、子ども達は元気に走り回り、両施設の良い交流の場になったとのこと。

すでに、「来年はもっと暑い時期に海に飛び込んだりしたい」等の声が上がっています。今年は新たに湘南慶育病院の開院もあり、今後は湘南地区交流の活性化がさらに活発になると思われます。



2017年5月21日（日）

熱川温泉病院・LCG熱川・西伊豆健育会病院・しおさい

伊豆地区4病院・施設合同のマリンスポーツクラブが、駿河湾に面した西伊豆の宇久須港で開催されました。参加人数は総勢80名となりました。

晴天に恵まれ、下田湾のクルージングや釣り、磯遊びを楽しんだ後は、吉田松陰踏海の地「弁天島」海岸で、交流を深めるバーベキュー大会で地元の魚介などを楽しんだとのこと。中国人ナースの皆さんも参加し、クルーザーから見える富士山の眺めに感動し、シャッターを何回も切るなどしていたそうです。



2017年7月2日（日）

ケアポート板橋

ケアポート板橋は、職員の相互交流を深める目的で、佐島マリーナにてマリンスポーツクラブを開催しました。19名（職員16名、家族3名）が参加し、クルージングや釣り、バーベキューを楽しんだとのこと。

天候にも恵まれ、クルージングでは船から海に飛び込んだり、釣りではかさご・キスなどが釣れ、バーベキューの際に唐揚げして食べたそうです。独自の企画として、恒例のスイカ割り・スイカ早食い競争なども行い、参加者全員がリフレッシュできたようです。



2017年7月22日（土）

竹川病院

竹川病院では、海のレジャーや美味しい食事を通じて「院内コミュニケーションの活性化」また「職員の親睦を図ること」を目的に、マリンスポーツクラブを佐島マリーナにて開催しました。参加者は、子供5名を含む26名となりました。

当日は快晴に恵まれ、参加者全員でクルージングやバーベキュー、すいか割りを満喫しましたとのこと。部署を超えてスタッフ間の交流を深める場ともなり、とても充実した一日を過ごすことができたとのこと。



今後、9月以降には以下のマリンスポーツクラブが計画されています。

9月9日 健育会グループ本部

9月10日 けやき・ひなた

9月11日 石川島記念病院

私も本部のマリンスポーツクラブには参加する予定です。

今年のスローガン「一人ひとりの使命感が、ビジョン実現の原動力です！」の達成になにより大切なのは、一人ひとりの職員の皆さんが、健育会グループの一員としての自覚、そして使命感を高く持つことです。そのためのコミュニケーションの活性の場、活力を醸成する場として、福利厚生制度があるのだと考えています。私は、職員の皆さんが心身ともに豊かな生活を送れるよう、今後も福利厚生制度の充実について取り組んでいきたいと考えています。